

平成28年11月 8 日

魚沼市議会議長 浅 井 守 雄 様

議会改革特別委員会

委員長 関 矢 孝 夫

### 議会改革特別委員会調査報告書

本委員会は、付託事件について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

#### 記

- 1 調査事件名   (1) 議会報告会の検証について  
                  (2) 政務活動費について  
                  (3) インターネット映像配信の検証について  
                  (4) その他
  
- 2 調査の経過   11月 8 日に委員会を開催し、上記案件について調査した。  
                  議会報告会の検証について、市民からより参加いただけるような  
                  日時、会場の選定、資料作成、意見交換の方法などについて協議  
                  した。  
                  政務活動費について、交付時期、交付回数、情報公開、金額の変  
                  更の際の第三者機関による審議及び第三者機関によるチェックに  
                  ついて協議した。  
                  インターネット映像配信の検証について、さらに検証し、また、  
                  市民から関心を持っていただくよう周知していくこととした。  
                  その他で、本会議での発言について及び議員活動について、意見  
                  が出された。

## 議会改革特別委員会会議録

### 1 調査事件

#### (1) 議会報告会の検証について

#### (2) 政務活動費について

#### (3) インターネット映像配信の検証について

#### (4) その他

2 日 時 平成28年11月 8 日 午前10時

3 場 所 広神庁舎 3階 301会議室

4 出席委員 大平恭児、岩井富士夫、志田 貢、大平栄治、遠藤徳一、関矢孝夫、  
星野武男、星 吉寛、森島守人、(浅井守雄議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 なし

7 書 記 櫻井議会事務局長、関主任

8 経 過

開 会 (10:00)

関矢委員長 定足数に達していますので、ただいまから議会改革特別委員会を開会します。

#### (1) 議会報告会の検証について

関矢委員長 日程第1、議会報告会の検証についてを議題とします。先日、11月1日、2日、4日、大変ご苦労様でした。今年度第2回の議会報告会が終わりましたが、これまでの議会報告会につきまして、これから検証させていただきたいと思います。議会報告会につきましては、平成24年度より正式に開催をし、今年度で5年が経過しました。配布資料も参考にこれまでの議会報告会について振り返り、課題や検討事項等がありましたらご意見をいただきたいと思います。また、今回の検証については、11月25日の全員協議会、実行委員会でまた検証されますが、今までの過去5年間も含めて検証願いたいと思います。

岩井委員 私3会場回らせてもらったんですが、2会場のある場所に参加した区長さん初め参加者のほうから言われたのは、やはりこうやって年に2回のあれを細かく地域に分けてやるというのが非常に不都合の部分があるんじゃないかという話が実はありました。それは、例えば守門地区あるいは小出もそうですけれども、小出のボランティアセンターとか

中心地でやると人は集まりやすいけれども、端のほうでやる場合には非常に限られたその地域の人たちしか参加はなかなかできないと、また、参加する人がそういう人たちに限られるということで話が実はありまして、もしこれからそういったところでやるのは結構なんだけれども、できれば大まかなところもひとつ毎回の会場に入れてもらいたいというような話が実はありました。ですから、守門地区それから堀之内、小出あたりの中心地は、小出であれば湯之谷関係の小出に近い人たちも参加できるということですので、そういう話がありましたので、ぜひ検討してもらいたいというような話が参加者の中からありました。

関矢委員長　岩井委員から会場の設定について問題が提起されましたけれども、このことについて皆さんからご意見がありましたらお聞かせ願えればと思います。

遠藤委員　確かに大石の会場で何で大石でやるんだという声は冒頭にありました。本来ですと、実行委員会も最初のころから委員としてやっていますけれども、アンケートや調査の結果の中で中央ばかりだとなかなか声が聞こえないだろうという声も踏まえて、年に一度は集落あるいは地域の自治会等に入っていこうということで進めてきた経緯があります。確かに参加人数といたしましては成果の上がらないものにはなっておりますけれども、実行委員会や市民の声を踏まえてのこれまでの取り組みでしたので、大きい声、小さい声合わせると小さい声なのかもわかりませんが、地域に入って喜んでいただけたという福山の例もありますので、小さい集落の声も踏まえて検証していく必要があるのではないかというふうに思っております。守門地区の皆さんに本当に感謝するところがあって、区長さん方が嘱託員として通知をもらうと何らかの形で集落に回覧ですとかお声がけしてくれている地域もあります。議会が嘱託員に回覧物を配布することは難しいのかもしれませんが、やはり集落内においては区長さんの一言というのは非常に大きいものがありますので、区長さんのご協力をいただける方法も考えたほうがいいのではないかなという感じがしました。

大平(恭)委員　中心部に会場設定をしたほうがいいという声があるということですが、確かにそういう側面があるかもしれないんですが、遠藤委員が言われたとおり地域であり普段なじみがなかったり、集落の人数自体が少ないところに市議会議員の半分が行って議会報告をするという取り組みは、他市にない非常にいい取り組みだと思っております。表を見ますと24年、25年をピークに右肩下がりの参加人数ですけど、ここは場所がどこというよりは全体の中でもう一回取り組みを検証したり、働きかけ等も少し工夫が要るんじゃないかなというふうに思います。場所よりはむしろ日時の設定もどうかなというところも検討すべきではないか。例えば今回は夜やったわけですが、それを3日間に分けてやった結果がトータルで49人ということになっているわけで、特に日時の検討の余地はあるのかなと思っています。それから、以前から言われている女性や若い方に対してのアプローチも工夫が要るんじゃないかなと思っております。市内には多くの女性の団体や若者の集まり、サークル、団体もあるわけで、そこら辺も個々の議員が働きかけを強めていくことも必要かなと思っています。繰り返しになりますが、他市にないことをやっていることも私は誇りに思って今後もある意味自信を持って継続していく形が大事ではないかなと思っております。

関矢委員長　場所またはやり方という中には、参加人数が右肩下がりといいますか、なかな

か伸びないというところに一番の課題があるのかなと思います。その辺も含めて今後どのような方法により人数をふやすかということも大事かと思うんですが、その辺についてご意見等ありましたらお願いします。

遠藤委員 議員個々の取り組みは当然大事でありますし、それもあり地域を分けてやっているところもあります。議員個人としては、今回も大石の場合は96軒戸数があるということで全部個別に議会報告会のチラシを入れさせていただき、歩いている人にはチラシを見せて足を運んでほしいというお願いをした方もありましたが、最終的には大石は、恐らく地域の人からいうと数人、あとは堀之内地内等から来ている方もいるので、どこから誰が来て悪いということではないのでオープンにしてあるので問題はないんですが、個々で団体に声をかける努力も要と思います。あと、議会に対する不満や不安も出ていいわけですが、中にはそういった話を聞いていて建設的な意見ができなくなってしまうという人がいて、ああいう話が出ると何を聞いていいかわからない、話しづらくなるという声も聞きます。報告であり意見交換ですのでいいのですが、しゃべりやすい雰囲気、意見をいやすい雰囲気もうまくできないものかと常に思うところがあります。

岩井委員 先ほど遠藤委員、大平委員が言っていることは私も全く同感だし、地域でやることに対して私は全く前例にない非常にいいことです。そこで、まず参加人員をふやすためには、中心地でまずやれば、普段そういうところでやった場合には非常に人が集まりやすいし、また、そこでは出るという人もかなりいると思うので、その場所をプラスしてするためには、当然3日ではまず無理な話なんで、日にちをふやすやり方を取るのか、あるいは、今2つの班に分けたのを3つの班というのもこれは難しい話だと思いますので、その辺も踏まえて何とか2日くらいふやして、会場を中心地に2日くらいはもってこれないかというのも、これからの人員をふやすためには大きな方法になるんじゃないかと思いますので、その辺をつけ加えた意味で、地域は当然やるということを前提の中でそういう方法もとれないかということはどうかと思いますが、皆さん方のお考えはいかがでしょうか。

遠藤委員 そういった議論も大事かと思いますが、最初は6日間とかやり方もいろいろな経過をたどって今があるわけですけれども、前と違って議案もあるしテーマを絞って意見交換しようとかいろいろなことを実行委員会の中で意見を出し、全員協議会で諮らせていただき、そこで合意をいただきながら進めてきました。また元に戻る、あるいは検証してみることでは、例えば堀之内会場が2回とか、小出は中心場所だから3回とか、そういったやり方もあるかもしれませんけれども、議論が必要じゃないかと思います。

関矢委員長 私のほうから、今回地域の方から声があったんですけれども、毎回どこでも出ているかと思うんですけれども、今、議会報告会は議会の決まったこと、また、議会の中の総意といいますか、それを報告するというで個人の議員の意見等は入れていないんですけれども、今回、小出の十日町の会場で、それがなければ非常に盛り上がらないというか、わからない、来ても張り合いがないというか、そういうご意見をいただきました。また、後から私ども別の会場の人からも電話をいただいて、やはりそういうところもあっていいのではないかという声もいただいたんですけれども、その辺もこれからの課題だと思いますが、それについては皆さんいかがでしょうか。

遠藤委員 それでは、報告会の意見交換というよりは、例えば大きい会場でディスカッション形式で個人の意見を戦わせるような討論形式で、市民から個々の議員の考えを読み

取っていただくという討論会といった形であれば、個々の意見のぶつけ合いは問題がないと思いますけれども、会場が分かれている報告会の中で、あっちとこっちと違う形式の意見が出たりするというのは、その後の責任の取り方もかわってくると思います。もしやるなら、議員で例えば地域振興センターのような広い場所を借りてステージ場で、会派代表者でもいいですけども、パネルディスカッション形式でテーマを絞って討論し合うとか、まちづくり委員会などから主催していただき議会討論会を開いていただき、集客もお任せしていろんな角度から声を集めてもらい議会の討論会をやるとか、そういった形で意見を戦わせ合う会であればいいと思うんですが、報告会でやるとちょっと方向が違ってくる可能性があります。もしそれをやるなら討論会のような形を設けるべきかなと思います。

大平(恭)委員　遠藤委員が言っているように報告会とするとなかなか無理がある。参加者からすると希望に添った会ではないという批判は随分前からあったというふうに思いますし、それに応え切れていない現状を真摯に受け止めるべきというのはあると思います。ただ、さっき言ったように目的、場所、どういう形にしていけば住民の参加した方々の要望に応えられるかというあたりが中心の課題になった形で、例えばさっき言ったようにシンポジウム形式。あるいは、私は対面形式だと話を聞く分にはいいんだけど意見を出すということになると、例えば車座とか円卓みたいな形でやるとか、形式も工夫が要るんじゃないかと思っています。議員がしゃべったことに対して対面形式だとなかなか言えないというところもあるんじゃないかと。私はほかの会議に参加させていただくことが多いんですけど、そういうことも少し聞いたりするので、やり方そのもの、討論会形式でも工夫も少し加えながらやったほうがいいのかと。また、議会報告の形も、議員が7、8名ずらっと並んでいると、聞いているだけで終わっちゃうみたいなのところも正直あると思うんです。なかなかあそこでしゃべるというのは、一般の方からすると非常に勇気のあることだし、それはそれでいいことだと思うんですが、多くの意見を聞きたいという立場に立てば、もう少しやり方を工夫してもいいかなと思います。

遠藤委員　報告会の目的というのは、議会基本条例にも定められておりますので、その辺を新たに直すのであれば本格的にやらなければいけませんけれども、5年経過の中で見直しということであれば、報告会のあり方自体もいいと思うんですけども、先ほど委員長がおっしゃったように個々の意見を言うのであれば、会話形式じゃだめだと思うので、個人の意見を戦わせるのを市民から、あの議員はこういうふうな考え方なんだなといったのを読み取ってもらうのはいいと思いますけれども、個人の考え方についての意見交換というのであれば、やっぱり個人でやる報告会等で十分できるわけありますので、そこにはいかように人を呼んでもいいし、自分の思うことは全然言っているんですけども、もし議会全体でやろうというのであれば、テーマを絞ってパネルディスカッション形式で意見を戦わせる、市民はそれを聞いてこういった考え方もある、こういった考え方もあると市民自ら判断する材料をつくるというのも取り組みとしては悪くはないと思います。

星委員　過去の実績を見ますと、参加者が多いのはその集落から議員が出ているところはどうしても多くなります。この目的というのは、小さな集落でもそういう意見を聞くいい機会だと思うので、これは報告会ということで今のとおりやる必要があると思います。個々の意見は、それぞれの議員が日々の活動の中で聞くべきじゃないかと思っています。この活動を活発化してもらう。我々まとまって行くときは、山間地の小さな集落を聞くのも大

事だと思いますし、岩井さんが言っているように全体的な参加者が少なかったら、議長、副議長、総務委員長くらいに3つの班に分けて回るところを余計にするという方法もあると思います。報告会と個々の議員の活動、はっきり区別しないとうまくいかないと思います。もう一つは、参加者をふやすためにそれぞれの地域で、集まってほしいという活動が必要だと思います。

遠藤委員　昨年総務委員会でおじゃました長野県のある自治体は、広いところでブース分けをして、テーマごとにテーブルをつくって、市民はどこでも回っていいようなシステムで、例えば総務や福祉、産業建設など、そういったやり方でやっている事例を聞いてきました。

岩井委員　今回私がちょっとどうかなというか、こういう意見の人にはどういうふうに対処したらいいのだろうかというのがあったのは、恐らく議会の中で意見が反対、賛成に割れた場合に、反対の人はどういうあれで反対したのかというような意見に対しては、議会全体の報告会なので個人の意見は差し控えさせてくださいというあたりが、皆さん方が疑問に思ったというか、個人の意見を出せないというので皆さん抵抗を感じたというのが実はあったと思うんですけど、その辺に関してはどういうふうに皆さん感じましたか。

遠藤委員　今回そういったことが多いだろうと思ったから議会だよりで討論を掲載しました。その討論を見れば個人がどう考えているかを読み取っていただけるための議会だよりになっていると思うので、反対の議員はどう考えて反対なのか、賛成の議員はどうなのかと言いだめるときりがない会になるので、ルールをかえないうちは難しいのではないかと思います。

森島委員　全国市議会旬報に皆さん方が言われていることが全て記載されていると思います。実行委員会で方法、意見交換などについて、改革できるところは改革していきたいと思っております。

星野委員　私も日程につきましては年2回やっているわけですので、例えば1回は各地域の中心部でやって、もう一回は各地域に出ていくという方法が1つと、内容につきましては、森島委員も言ったように、例えば新潟市議会も新潟日報にときどき議会報告会の話が出ておりますけれども、やはり参加人数が少なく、私どもも5年やってきてマンネリ化している市民もいるのではないかという感じもしますので、今言ったことを検討した中で来年度から直すところは直してやっていくという方法がいいんじゃないかと思います。ただ、あくまでも議会報告会ですので、市民の皆さん方が言っている個人的な意見等については、なかなかできない部分もあるかと思いますので、できる部分で改革していく必要はあるのではないかと思います。

志田委員　湯之谷の会場で、議会報告会に関する資料は議会だよりで、文字が小さいということで大変わかりづらいと。予算の中で一生懸命やっているのに皆さんの期待に添うことができないという答弁はあったんですけども、今後も議会報告会はやらなければならないわけですので、議会報告会のための資料みたいなものを今後考えていかなければならないのではないかと思います。

関矢委員長　ほかにありませんか。(なし) 皆さんから出していただいた検討案、改正案等をまとめさせていただき、議会改革特別委員会の今後の議会報告会のあり方の検討案として議長に報告させていただきたいと思います。これにご異議ありませんか。(異議なし) そのように決定しました。

## （２）政務活動費について

関矢委員長　　日程第２、政務活動費についてを議題とします。ご承知のように、政務活動費を取り巻く報道が後も引かずに報道がなされております。特に富山市議会の問題を発端に全国の議会へ市民の視線が向けられてきているものと強く感じます。本日は、議会を取り巻く情勢や前回の全員協議会での星野議員より３つの提案があり、議長の命を受け政務活動費についてを議題とさせていただきました。委員皆様のご意見等をいただけたらと思います。資料がありますので事務局より説明をさせます。

櫻井議会事務局長　　（資料「京丹後市議会ホームページ抜粋」「中越地区市議会議長会資料」「魚沼市特別職報酬等審議会条例」により説明）

関矢委員長　　ただいまの説明に対する質疑を行います。

大平(恭)委員　　後払いというのはどのようにしているのでしょうか。領収書を添付の上、その金額を振り込むという形でしょうか。

櫻井議会事務局長　　うちの場合は４月に交付申請をしていただき、年度当初と半期が終わったところに振り込みますが、京丹後市は半期が終わったら収支報告書を出してもらい、その額を交付するという形をとっています。

関矢委員長　　ほかに質疑はありませんか。（なし）なければ、星野議員からの３つの提案を含め、現在、政務活動費を取り巻く問題、課題点と考えられる項目について順次意見をお願いしたいと思います。１点目は、収支報告を年１回ではなく半期ごとにして年２回にすることについてご意見をお願いします。

大平(恭)委員　　２回にする根拠は、他市にならって２回なのか、意図があって２回ですか。

星野委員　　これにつきましては、後払いにも関連してくることなんですけれども、今は年１回報告ということで前払いでもらっていますけれども、後払いで年１回でもいいのですが、それだと厳しいという話もありますので、例えば４月から９月までの分を報告して１０月に年間の半額分をいただき、最終的には４月にもう一回報告してもらうということを考えて、年２回報告したほうがいいのではないかとということです。

星委員　　全体で９万６,０００円の内額ですが、２回にしたときは、当然事務の効率化も図らなければなりませんけれども、事務局がどれくらい負担がふえるのかということも考慮が必要ではないかと思います。金額が何十万や何百万ならいいのですが、９万６,０００円で事務があまりにもふえるようでは効率的ではありませんが、どうでしょうか。

櫻井議会事務局長　　今やっている事務が１回ふえるという感じです。今の事務は、何時間単位では難しいですが、担当は１人で、締切日に全員から集まったとして２日くらいであれば確認できるという感じはします。それが２回という形になります。

星委員　　現状の倍になるということですか。

櫻井議会事務局長　　そういうことです。

遠藤委員　　いろいろなところで問題になっておりますが、事務局に市民などから問い合わせはありますか、全国的なニュースを踏まえて。

櫻井議会事務局長　　例えば誰かからこういう情報公開が来たとか、それを我々はお知らせできない。情報公開の関係になりますと、それはできません。今、委員が言われた議会事務

局に対する照会があるかどうかということに対しては、今のところはないです。仮にあったとしても、努めて我々のほうから情報提供できないことはご理解いただきたいと思います。

大平(栄)委員　私のところには何回か問い合わせがあつて、そんな金額しか出ていないのかと逆に言われました。そんなことで議員活動できないではないかというほうが大勢で、ほかのところと比べて少なすぎると思います。1回でもいいし2回でもいいけれども、1回だって別に不信に思われることはないと思うのだけれど、事務局がやりやすいとか、1回でもいいんじゃないかと私は思います。

星委員　1回でいいんですが、後払いとも関連しますよね。

関矢委員長　後払いにするのであれば、やはり2回という形になるのではないかと思いますので、関連づけた中で検討いただきたいと思います。2点目は、関係書類については全てインターネットで公開することについてご意見はありませんか。

櫻井議会事務局長　事務局としては、今は閲覧できる体制になっておりますので、努めてインターネットで公開まではまだいいのかなという感じはしております。というのは、インターネットで公開するには、領収書全てをデータ化していくことになりますので、先ほどの2回の支払いの事務手間以上にかかなり負担があります。ただ、県内市、全国を見渡した中で交付額の多少なども考えたときに、そこまでしなくても閲覧、コピーの請求もできますので、まだいいのかなという感じはしております。この3年は閲覧もありませんので、おいおい必要でしょうが、まだいいのかなという感じです。また、印鑑などは黒塗りにして公開しますので、その辺の業務も発生します。

遠藤委員　閲覧も可能ですので、その辺をしっかりと発信しておけば、3年間実績がないということですし、これで当分様子を見てもいいのではないかと思います。

大平(恭)委員　私もそこまでと思いますが、ただ、市民側からするとどうなっているのだという思いもあると思いますので、公開しているという周知、魚沼市はこうしていますということをしっかりと議会だより等で知らせたほうがいいと思います。

関矢委員長　ほかにありませんか。(なし) なければ、インターネット公開は見送り今までどおり閲覧できるということでやっていく、また、閲覧ができるということを議会だより等で市民の皆さんに周知するという意見にさせていただきます。3点目の、政務活動費は後払いにすることについてご意見をお願いします。

遠藤委員　私は、もしこれによって透明性や市民の声が払拭できるのであれば後払いでも構わないと思いますが、これまでやった中でそういった問い合わせもないということであれば、皆さんが意識を持って守っているということを考えると前払いでも構わないのかなという感じもしますが、市民の声が高いのであれば後払いもあろうかと思います。

星野委員　私も個人的にはいろいろ問い合わせが来ていたので、魚沼市議会の場合は閲覧もやっていますよと、いつでもできるという話もしておりますし、後払いについても、金額的にもそんなに多額じゃないので、このくらいの額だったら年1回でもいいかなというふうにも思っております。ただ、さっきのようなお話もありますので年2回と言ったわけですが、後払いにするということができれば年1回でも2回でもどちらでもいいと思います。

森島委員　私は大平恭児委員が言われたのも十分わかりますが、後払いでもいいのかなとい

うふうに思います。私は全額もらわない場合があります、前払いにすると返戻の納付書をつくってもらうなど事務局の手を煩わせることがあります。問題になっているように前払いだとどうしてもそれを使わなければならないというような部分がなきにしもあらずですので、後払いでもいいのかなと思います。また、交付対象は会派及び議員となっておりますので、会派等でまた議論していただければと思っております。

星委員　私も後払いで、報告は1回でよろしいのではないかと思います。

大平(栄)委員　私も後払いがいいと思います。

大平(恭)委員　私は後払いなら複数回でやってもらいたいです。

関矢委員長　ほかにありませんか。(なし) 全体的には後払いですが、回数についてはここでは結論を出さず議長に報告させていただきたいと思います。また、会派で検討いただくようお願いします。4点目は、交付額の決定を報酬等審議会に委ねることについて、ご意見をお願いします。

櫻井議会事務局長　当市の報酬等審議会は、政務活動費を過去に審査項目にしたいという話がありました。それが過程の中で外れていきましたが、どうしても報酬等審議会に委ねなければいけないかというところでもないと思います。近隣市にも聞きましたが、報酬等審議会はいくまでも報酬の審議ですから、政務活動費は報酬という意味ではございませんので、同じところで審査するのはいかがかという考えもございます。お手盛りではうまくないからということで審議してほしいということをお願いするのはやぶさかではないと思いますが、審議する内容、お金の色が違うということもございます。例えば長岡市ですと、常設はしてありませんが、政務活動費の金額をかえるときは新たに第三者機関をお願いをするということです。決して報酬等審議会では審議しなければならないというものではありません。参考までをお願いしたいと思います。

大平(栄)委員　報酬がふえるなら審議会でもっとふやすようにしてもらいたいと思います。

星野委員　長岡市の第三者機関というのは、どういうものですか。

櫻井議会事務局長　最近では改定がないのですが、こういうケースが出たときにつくるということだそうです。

星野委員　確かに報酬ではないということで報酬等審議会ではということもあろうかと思いますがけれども、やはり政務活動費も現在金額は少ないわけですがけれども、やっぱりお手盛りの昨年みたいに議会で要求してそのまま通ったというのはいかがなものかという面もあるかと思いますので、やはり何らかの形で、報酬等審議会では毎年審議するものでなくて結構ですがけれども、金額を上げるときは別の形でもいいですので第三者機関で審議していただいたほうがいいのではないかと思います。

関矢委員長　ほかにありませんか。(なし) 今ほど星野委員から出されましたけれども、政務活動費の金額を変更するときは、第三者機関から審議していただくということで集約させていただきます。5点目は、第三者機関によるチェックを行うこと。現在は議長と議会事務局により収支報告書をチェックしておりますが、これについてご意見をお願いします。

大平(恭)委員　第三者機関を想定するときは、この部分だけということですか。ほかの部分もですか。それと、第三者の具体例はありますか。

櫻井議会事務局長　まず、チェックするのは政務活動費に限ります。ここでいう第三者機関とは、議会事務局から出たところということになります。県内ですと、今回の問題を踏ま

えて例えば監査委員の監査対象にしてもらおうといったやり方をしているところもございますし、第三者機関をつくって審査してもらおうところもあります。

星委員 報告書についてですが、9万6,000円ですと、極端な話、新聞数紙でその金額になります。そのほかに活動しているわけですので金額が20万、30万にもなります。報告書は全部出すのか。例えば9万6,000円がわかればいいのか。

櫻井議会事務局長 政務活動にかかわる費用は多岐に渡っていると思いますが、チェックの対象となるのは公費で出した部分になりますから、政務活動費として申請いただき実績に上がった部分でよろしいかと思います。9万6,000円見合い分です。

関矢委員長 ただ、先ほど政務活動費の金額の変更を第三者機関でということになりますと、全額を報告していないと、10万円しか使っていないから9万6,000円でいいという話になるかと思います。これも底上げをするには使った分を出さないといけないと思います。その辺も踏まえた中で議論いただきたいと思います。

森島委員 今、第三者機関ということで、例えば報酬等審議会条例の中に加えるのか、全く別に条例を設けるのか、監査委員も含めた中で、今ここで早急に結論が出る問題ではないと思いますので、皆さん方に提起して会派あるいは全員協議会で進めていくのがいいと思います。

関矢委員長 問題提起したということで議長に報告し、議長から全員協議会、会派代表者会議を通して議論いただくこととします。ほかに政務活動費についてご意見はありませんか。（なし）なければ、本件については以上とします。

### （３）インターネット映像配信の検証について

関矢委員長 日程第３、インターネット映像配信の検証についてを議題とします。資料がありますので事務局に説明を求めます。

櫻井議会事務局長 （資料「インターネット議会中継アクセスレポート」により説明）

関矢委員長 ただいまの説明に対する質疑を行います。

大平(恭)委員 ことしに入ってから傾向はどうですか。

櫻井議会事務局長 スマホ、タブレットで映像配信する前は、大きな変動はありません。

大平(恭)委員 104件でしょうか、それくらいですか。

櫻井議会事務局長 8月は50件です。その上下くらいで大きな変動はありません。

関矢委員長 ほかに質疑はありませんか。（なし）このデータを見て皆さんから意見がありましたらお願いします。

遠藤委員 始まって2カ月ですし、さらなる検証が必要だと思いますので、しばらくこれでも月数を重ねるべきだと思います。

森島委員 見ていただくようもっと知らせる方法は考えていますか。

櫻井議会事務局長 周知の方法ということですが、FMや市報、議会だより等で周知しています。今後も同じようにしていくつもりです。

星野委員 私も遠藤委員と同じで、もう少し様子を見るべきだと思います。

関矢委員長 ほかにありませんか。（なし）インターネット映像配信については、もう少し様子を見るということと、市民の皆さんから関心を持っていただくよう周知、または議員

の活動の中で話をさせていただくということとします。

#### (4) その他

関矢委員長 日程第4、その他を議題とします。事務局から連絡はありませんか。

櫻井議会事務局長 全員協議会でもお話ししましたが、子ども議会について、議会改革特別委員会で取り組んでいただきましたが、学校、教育委員会で検討していただき次年度の実施に向けて動き出したい、また、中学校が6つありますので、1年1回というイメージで、最低でも6年間はしてほしいという要望があります。現在、当番校を検討しているということで報告させていただきたいと思います。

関矢委員長 ほかに皆さんからありませんか。

浅井議長 9月定例会がインターネットで映像配信されております。討論の中で制限をさせていただいた経過がありました。これは、会派代表者会議に諮ったり議会運営委員会に諮ったり、当日私もお願いをした経過がありますが、残念ながら討論に関して2回制止をしましたけれども、なお従わず、発言を禁止する場面がありました。これは、会議規則55条にあります、ぜひ禁止するような行為はやめていただきたい。決めたことは守っていただきたい。なるべく発言はしていただきますし留意しますが、なかなかそれを守っていただけない場合は禁止をします、全部ネットに載ります。そういうことをぜひ議員各位が留意していただき、また、議会運営委員会でも話をさせていただきますし、会派代表者会議でも話をしますので、今後ともよろしくお願ひしたい。その点を留意していただきたいと思います。

関矢委員長 今ほど議長からご意見がございました。この件については、議員個々または会派に持ち帰っていただいて周知いただくようお願いしたいと思います。ほかにありませんか。

星委員 議会は何をやっていると、足の引っ張り合いじゃないかというような意見も多くなりました。今の議員であれば報酬を半分くらいに減らせという意見もいただきました。私も含めて今後この委員会で、ちょっとでも向上する議会になるように検討をお願いしたいと思います。こういう意見が出ないように取り組む必要があると思いますのでお願いしたいと思います。

関矢委員長 具体的にどのような策はありますか。研修をやるとか。

星委員 何がいいかは皆さんと一緒に。特に議員は議会にもっと真剣に取り組めと、これが一番いただいている意見ですので、その辺も踏まえながら1人1人の議員としての自覚を持つようなことをお願いしたいと思います。

大平(栄)委員 自分がしっかりやればいい。人のことは言えない。

遠藤委員 議会報告会においても、ある市民から、議会は意思決定ということではなくて個人の積み上げによってその結果を表決という形で、最終的には結果が否決や可決になるということですので、議員個人は個人事業者と同じ立場という話がありますが、それと同じでやっぱり議員個人の積み上げによって最終的にはどういう表決をするか、その積み上げというのは個人で努力していく部分もあるかと思うので、その辺、市民の声としてありますようにしっかりと取り組んでいかなければいけないのが1点です。表決に

関しましては、自分が積み上げたものの結果でありますので、それについてどうのこうの  
と言って名指しでそれを批判するような広報活動ということは非常に遺憾でありますの  
で、その辺はそういった形ではなく取り組んでいただけたらと私は思います。

大平(栄)委員　私のことを言われているみたいですが、批判されないようにしっかりやって  
いただきたいと思います。批判されて困るようなことをしてもらっちゃなんと思います  
ので、しっかり勉強してもらいたいと思います。

星委員　要するに市民の皆さんから議員はよくやってるなど、これなんです。

関矢委員長　ほかにありませんか。なければ、これでその他を終わります。本日の会議録の  
調製については委員長に一任をいただきたいと思います。本日の議会改革特別委員会は、  
これで閉会します。

閉　　会（11：15）